

# 厳し美しの里 だより



発行者：厳し美しの里協議会  
(会長 小岩次男)

(事務局)

〒021-0101

一関市厳美町字沖野々116-6

一関市厳美市民センター内 鈴木

TEL29-2205 FAX29-2251

Genbiccc.jp



令和4年2月1日発行 第32号



## 岩手県立一関工業高等学校 「技術・知識を地域に つなげるプロジェクト」



県立一関工業高等学校による地域貢献「技術・知識を地域につなげるプロジェクト」では、今年度岩手宮城内陸地震の教訓を後世に伝えるとともに、厳美地域の活性化につながる手段として震源地や被災地をドローンで撮影するなど、土木科3年生3人が工業高校で培った知識と技術を生かした活動をして頂いています。

また別のグループの土木科3年生4人が昨年に引き続き、観光地である厳美地域に憩いの場を提供したいと、手作りのベンチを新たに2基寄贈していただき、厳美地域には併せて8基のベンチが設置されることになりました。

昨年までは厳美「ひかりの森」開催中のみ市博物館林間広場に設置していたベンチでしたが、年間を通して設置することになりました。もう1基は若神子亭さんに設置しましたので、厳美の春夏秋冬の移り変わりを、このベンチに腰掛けながらご覧になっていただけたらと思います。

一関工業高校土木科の皆様、誠にありがとうございました。



市博物館林間広場での贈呈式



若神子亭にて ベンチに座って“はい、ポーズ”

# 地域の伝統 小正月行事



1月15日（土）に、毎年恒例の小正月行事を開催しました。

コロナウイルス感染症対策を徹底し「正月かざり伝承会（代表：千葉正志さん）」や「ひこばえの会（代表：佐藤せつ子さん）」の皆さんのご指導のもと、餅つき、繭玉ならし、きんこ作り、きんこならし、おさくだけを行いました。

一本杵や千本杵での餅つきや小刀でヌルデ（かつ木）の皮を削るなど、初めて体験したお子さんも、お父さんお母さんや正月かざり伝承会の皆さんと一緒に、上手に行っていました。

今年度もコロナウイルス感染症対策として、参加者全員での昼食会は行わず、あんこ餅と納豆餅、きな粉餅が入った、お餅のお弁当を持ち帰っていただきました。

今年も、つきたての餅で作ったお雑煮や納豆餅を何度もおかわりして食べる子どもたちの姿を見る事ができずとても残念でしたが、楽しかったとお餅のお弁当を抱えながら帰る子どもたちの姿に、お餅を作っていたひこばえの会の皆さんも笑顔が溢れていました。

今年も親子三世代、地域のサロンの方々、民俗文化に興味のある方々に参加いただき、和気あいあいとした小正月行事となりました。

餅やミズキや栗の木、ヌルデの準備などご尽力くださった地域の皆様、ありがとうございました。



千本杵でぺったんぺったん



小刀の扱いも、お手のもの



みんなで削った“きんこ”をならします



稻わらと豆殻を雪に植える“おさくだけ”